

教員推薦図書 2019年10月～2020年2月

推薦教員	子ども学科 教授 善本 眞弓 先生	【推薦コメント】
書名	日本伝承遊び事典	<p>「伝承遊び」は人から人へ伝わる遊びです。人と人が一緒に遊ぶ、つまりコミュニケーションをとりながら遊びを伝えていくところに意味があります。かつては年上の子どもが年下の子どもと一緒に遊ぶ中で、あるいは祖父母から孫へと伝えられていった遊びでした。近年、地域社会の中で異年齢の子ども集団が遊ぶ機会は激減し、核家族化により祖父母からの伝承の機会も極端に少なくなっています。しかし、私たちにも日本の伝統的な遊びを後世に伝えていく役割があります。</p> <p>日本には豊かな四季と国内各地に多様な遊び文化があります。この本には、春夏秋冬の遊び、わらべうたや日本ならではの伝承玩具を使った遊び、地方色豊かな伝承遊びや行事が数多く紹介されています。是非一度手に取って、子どもの頃に遊んだ懐かしい遊び、新たに出会う興味深い遊びの世界にふれ、日本の伝統的な遊びの世界を楽しんでみてください。</p>
著者名	東京おもちゃ美術館編	
出版者	黎明書房	
請求記号	384.55/Tok	
資料ID	901117379	
推薦教員	国際学科 教授 イ ユニ 先生	【推薦コメント】
書名	82年生まれ、キム・ジョン(82年生 김지영)	<p>2017年に韓国で異例のベストセラーとなった小説が日本でも大ヒット中ですのでご紹介いたします。</p> <p>この小説は、女性に対する差別などが扱われたフェミニズム的な特徴により20代～30代の女性読者に人気が高いです。日本の多くの女性にも共感が得られる理由は、スルーしてきたパラルレルな女性差別が根強く存在するからだと思います。</p> <p>2018年5月に台湾で出版され電子ブックサイトの「Readmoo」で1位にランクイン、2018年12月に日本で発売され2019年1月～6月の間に海外文学部門の売り上げ6ヶ月連続1位を記録しています。</p> <p>現代を生きるための「共生」に何が必要かを考えさせられる本です。また、韓国語版と読み比べると翻訳の勉強にもなりますので、是非読んでみてください。</p>
著者名	チョ・ナムジュ 著 斎藤真理子 翻訳	
出版者	筑摩書房	
請求記号	929.13/Cho	
資料ID	901117300	
推薦教員	幼児教育科 教授 吉田博行 先生	【推薦コメント】
書名	虹色のチョーク 働く幸せを実現した 町工場の奇跡	<p>神奈川県川崎市にある「日本理化学工業」は、従業員の約7割が知的障害をもった方々で占められています。主にダストレスチョーク(粉の飛ばないチョーク)を製造しています。現在、日本のチョークシェア50%を占める筆頭メーカーでもあります。障害者の雇用は、約50年前に2人の少女を採用したことからはじまりました。坂本光司著『日本でいちばん大切にしたい会社』(あさ出版)に掲載され、マスコミでも取り上げられ、広く知られるようになりました。</p> <p>会社は売上を上げるために、利益を上げるために存在しているのではない。必要とされる社員が誇りをもって働くことができ、その結果、みんなが幸福を感じることができる。福祉とはなにか。企業から学ぶことの大切さを教えられます。ある福祉施設では、職員が会社を見学し学んできました。</p>
著者名	小松成美	
出版者	幻冬舎	
請求記号	589.73/Kom	
資料ID	901116317	
推薦教員	国際言語文化学科 教授 周建中 先生	【推薦コメント】
書名	始皇帝中華統一の思想 『キングダム』で解く 中国大陸の謎 (集英社新書)	<p>山崎賢人(主人公・信)、吉沢亮(漂、のち秦王・始皇帝嬴政)、長澤まさみ(山の民の女王)、橋本環奈(可愛い奇妙な姿をする猛者)、本郷奏多(クーデターを起こした王弟)、大沢たかお(大將軍王騎)など豪華キャスト出演の映画「キングダム」を見てきた。信と漂の天下の大將軍になる夢(のち中華統一)を目指して努力する姿にとっても感動した。</p> <p>脚本に関わられた原作者、中国の春秋戦国時代末期を舞台にした漫画「キングダム」(「週刊ヤングジャンプ」2006年から連載、集英社、累計発行部数3,800万部)作者の原泰久さんも「仮編集の段階で5回泣いた」ほど(映画のチラシによる)。</p> <p>なぜ映画を見てきたかという、タイトルの推薦図書は「漫画「キングダム」を題材にした」、「歴史を詳細に研究して描かれている」(著者)ので、推薦文を書くためにはまず漫画「キングダム」を見た方がよいと思ったが、しかし、量的にも時間的にもとても不可能なため、ちょうど映画の上映があって、まず映画を見て、あらすじを把握してから本を拝読して推薦文を書いたわけである。</p> <p>なぜ2,200年前の始皇帝の時代から中国は殆ど統一国家を続けられ、そしていまは世界最大の14億の人口を有する巨大国家になってきたのか。古代中国史専門家の本書の著者である渡邊先生は歴史上の春秋戦国時代、法家と中華の統一、そして儒学、孔子・孟子、漢字の役割などについてとても分かり易く要点を抑えて整理し説明をなされている。</p> <p>本書は歴史の勉強になるだけでなく、今日の日本の巨大隣国である中国を理解するためにもとても参考になると思われる。また、世界的にも今日のEUとの状況の比較および「東アジア共同体」がなぜできていないかの理由などについての論述も面白い。</p> <p>「キングダム」のシーンを引用して歴史地図や系統図も用いて説明している本書(800円+税)はとても面白く読みやすいので、ぜひ皆さんにお薦めしたい。</p>
著者名	渡邊義浩	
出版者	集英社	
請求記号	222.041/Wat	
資料ID	901117112	
推薦教員	日本伝統文化学科 教授 小橋令治先生	【推薦コメント】
書名	架空論文投稿計画 あらゆる意味で でっちあげられた数章	<p>「ディストピア小説」という小説のジャンルがあります。無論理想郷を描いたユートピアとは逆の概念で、特徴の一つに徹底した管理社会であることが挙げられますが、この小説もそのような小説群の一つと捉えることができるかもしれません。ただし、それは誰を対象とした管理社会かという、他ならぬ大学教員にとってなのです。</p> <p>この小説では、主人公の若手教員が出鱈目な論文を専門誌に投稿したらそれが受理されるのかという実験や、謎の組織「論文警察」の暗躍など、現実の研究者が取り巻かれている様々な問題が、ユーモアを交えて描かれています。作中で投稿されている嘘論文自体、タイトルだけ見ても面白いです。「図書館所蔵の推理小説に”犯人こいつ He'd done it!”と書きこむひととはどんなひとか」「ねえ、太った？」は存在証明機会」などなど。実際にその論文も作中作として読めるので、「レポートの書き方」のようなハウツー本を読むよりは、楽しみながら学べるという側面もあります。</p> <p>先生たちが置かれている研究環境の現状を、小説という形で垣間見ることができるという点で学生の皆さんにお薦めしたい本作ですが、実は先生方にも読んでいただきたい一冊です(笑えないかもしれませんが)。</p>
著者名	松崎有理 著	
出版者	光文社	
請求記号	913.6/Mat	
資料ID	901117133	